



Title	平成29年度高大連携物理・化学教育セミナー報告書 はじめに
Author(s)	関山, 明; 下田, 正; 佐藤, 尚弘 他
Citation	高大連携物理・化学教育セミナー報告書. 2018, 29
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/67765
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

はじめに

大阪大学大学院基礎工学研究科	関山 明
大阪大学大学院理学研究科	佐藤尚弘
大阪大学大学院理学研究科	下田 正
大阪大学全学教育推進機構	杉山清寛
大阪大学全学教育推進機構	川内 正

高大連携物理・化学教育セミナーは、高校と大学の先生方が年に1度集まって、理科教育の問題点や教育方法の改善、大学入試に関する課題、高校と大学の教育の接続の問題などを議論するとともに、最新の研究成果を紹介するために、大阪大学理学研究科、基礎工学研究科および全学教育推進機構が協力して開催するものです。このセミナーのルーツは大阪大学基礎工学研究科による「理科と情報数理の教育セミナー」にあります。その後、高校と大学の教員のコミュニケーションの場としての重要性から、理学研究科がこれに加わり、物理分科会は大学教育実践センター主催で行われていた「高大連携物理セミナー」と合体して発展してきました。また、昨年までは別々に行っていた化学分野の高大連携化学教育セミナーを今年度は合同で行い、名称も「高大連携物理・化学教育セミナー」として開催しました。昨今、高校と大学が協力して解決すべき課題が山積しておりますので、本セミナーのように、高校と大学の先生方が集まって議論し研究することは、重要な意義があります。

本年度は、本学研究者2名の方々による講義、昨年に引き続き基礎工学研究科研究室訪問、そしてH34年度から実施予定の新学習指導要領下で高校および大学が求める生徒・学生像について議論する「高大連携企画」を開催しました。講義では分子エレクトロニクス、物性物理学の2つの分野における最先端の研究をわかりやすく話していただきました。前者は今回物理・化学合同ということで境界融合分野の話題となりました。基礎工学研究科研究室訪問では物質創成専攻8研究室の協力のもと、高校の先生方には約1時間半かけて2研究室を見学していただきました。高大連携企画では、高校所属の2名および大学所属の3名の方々に、新教育課程における高大接続について現状と将来への展望を語っていただいた後に、参加者全員で議論を行いました。

このセミナーの成功には、熱心な高校の先生方の参加に負うところが大きく、発表してくださった先生方・研究室訪問に協力いただいた先生方は言うに及ばず、遠路参加していただいた先生方に感謝いたします。また、セミナー開催を支えていただいた両研究科の事務の方々にお礼を申し上げます。